

2021 年 11 月 17 日

株式会社みずほ銀行
株式会社メルカリ



みずほ銀行のオフラインチャネルを活用した
「メルカリポスト」の設置と顧客体験の拡大等に関する連携開始について
～ATM コーナーとメルカリポストを、ますます『便利』で『身近』に～

株式会社みずほ銀行（本社：東京都千代田区、頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）と株式会社メルカリ（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：山田 進太郎、以下「メルカリ」）は、これまで、金融サービスと非金融サービスの融合による両社の顧客体験・サービスのさらなる向上や、相互送客により両社がこれまでとは異なる顧客層への新たなビジネス展開を目的として、みずほ銀行が培ってきた金融に関するノウハウおよび店舗・ATM 等のオフラインチャネルと、メルカリグループが提供するサービスの顧客・事業基盤を活用した協業についてさまざまな検討を進めてきました。

このたび、協業の第一弾として、11 月 19 日（予定）より、みずほ銀行の ATM コーナー（※1）にフリマアプリ「メルカリ」で販売した商品を発送することができる無人投函ボックス「メルカリポスト」を設置する実証実験を開始します。

※1：みずほ銀行 OOTEMORI 第一出張所（東京都千代田区）に設置

生活動線として日常的に利便性のあるみずほ銀行の ATM コーナーに「メルカリポスト」を設置し、生活に役立つサービスの提供を通じて、両社の顧客利便性を高めていきます。

また、みずほ銀行とメルカリは、今後も、以下の取り組みに関する協業に向け、検討を進めていきます。

■ 今後両社で協業を検討する内容

- みずほ銀行の店舗や ATM 等のオフラインチャネルを活用した「メルカリポスト」の増設など、「メルカリ」配送ポイントの拡充に向けた取り組み
- みずほ銀行の店舗でのオフラインチャネルを活用した「メルカリ教室」の開催など、みずほ銀行とメルカリグループの顧客に対して、両社が有するナレッジの相互提供

に向けた取り組み

- デジタルネイティブ世代含むメルカリグループの顧客と、高齢者・富裕層といった潜在的に出品意向を有する〈みずほ〉の顧客の相互送客を通じた、これまでとは異なる顧客層への新たなビジネス展開に向けた取り組み
- 上記に加え、金融サービスと非金融サービスの融合による両社の顧客体験価値およびサービス・利便性の向上に向けた取り組み

みずほ銀行とメルカリは、今回の実証実験および将来の協業内容も含め、〈みずほ〉のオフラインチャネルとメルカリグループのオフラインでの顧客タッチポイントを相互に有効活用し、新たな顧客体験の提供を目指していきます。

また、金融サービス仲介業務など金融領域での連携も深め利便性向上に努めていきます。

■ 「メルカリポスト」の概要（ <https://pj.mercari.com/mercari-post/> ）

「メルカリポスト」は、「メルカリ」で売れた商品を「らくらくメルカリ便」（※2）で発送できる無人投函ボックスです。商品が売れたあと、取引画面のQRコード（※3）を「メルカリポスト」のQRリーダーで読み取って送り状を発行・貼り付けし、商品を投函すれば発送完了です。

※2：「ネコポス」「宅急便コンパクト」に限る（宅急便は対象外）

※3：「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



■ みずほ銀行 ATM のメルカリポスト設置イメージ



以 上